

2018年

**看護師養成所の教員の勤務実態等に
関する会員調査結果 (抜粋)**



公益社団法人 日本看護協会

調査方法

背景

看護師基礎教育は30年間、総教育時間を増加せずに科目を増やし続けたため、**科目あたりの講義・演習・実習時間数が激減（実習は1/2に）**
現在、看護師3年課程の**7割以上で指定規則を上回る単位数の教育を実施（平均99.9単位）**、**3年で行う困難さを指摘する意見が少なくない。**

出典：日本看護学校協議会「看護師養成所における看護基礎教育に関する調査報告書」(平成27年度看護職員確保対策特別事業)

目的

看護師養成所の教員の勤務環境、勤務実態、就業継続意向、抱えている課題等について明らかにする。

対象

看護師養成所に勤務する本会会員

方法

ウェブ調査

※所属施設が「看護系教育研究機関」の本会会員（約13,000人）に依頼文を郵送し、そのうちの「看護師養成所の教員」（約8,000人と推計）に調査への協力を依頼。

期間

2018年8月24日～9月19日

内容

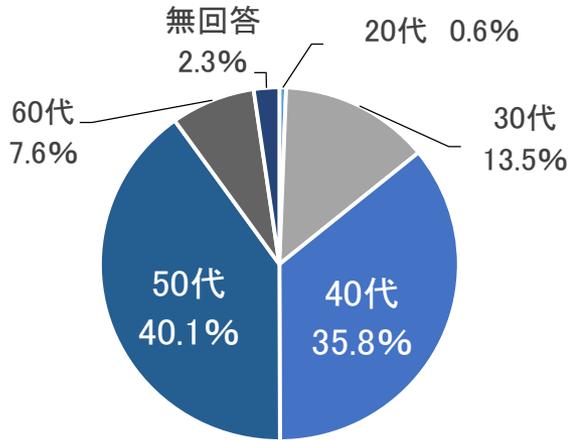
属性（所属施設の設置主体、職位、経験年数等）
労働条件・労働時間管理、業務負担軽減に向けて必要な取り組み
業務や勤務の実態（カリキュラム外の教育等、時間外勤務、持ち帰り業務）
給与、職場環境、健康状態、就業継続意向、学生や実習に関する課題等

結果

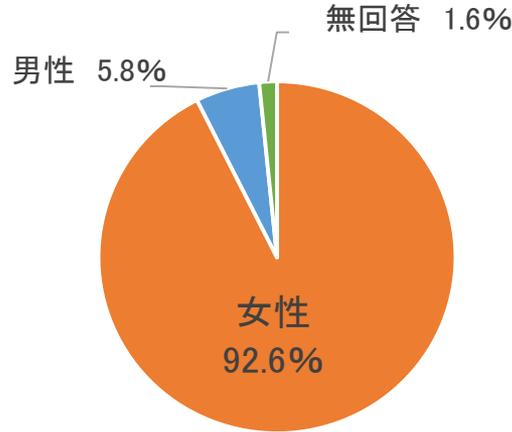
回答者数 2,033名（3年課程 1,663名、2年課程370名）

回答者の背景 (n=1,663)

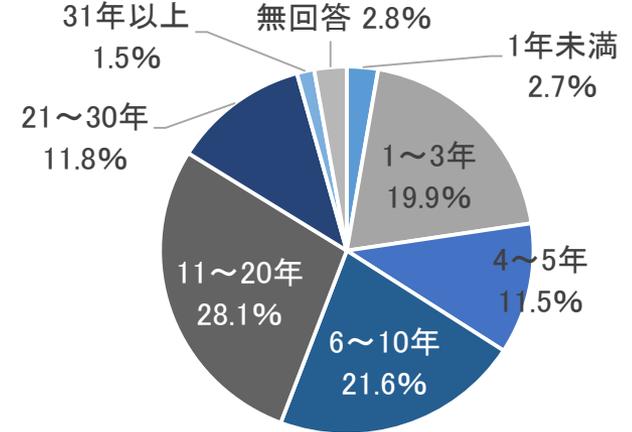
年齢



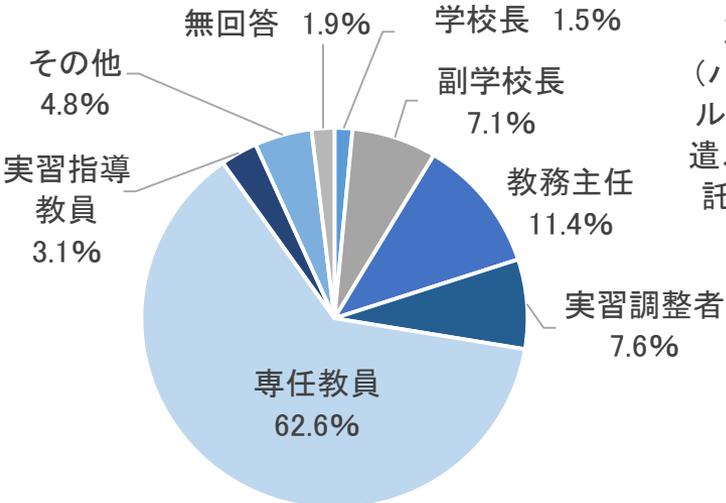
性別



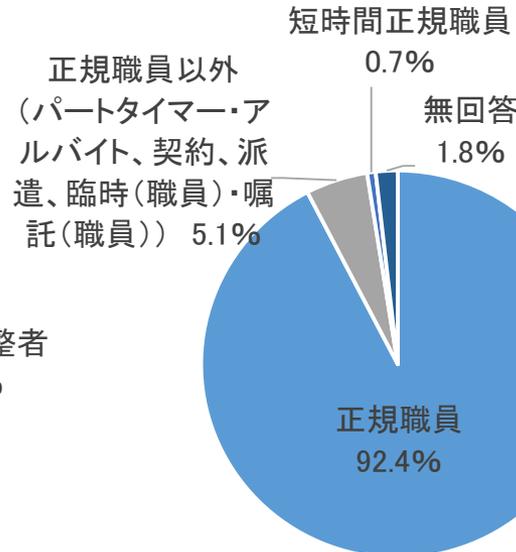
看護師養成所教員としての経験年数



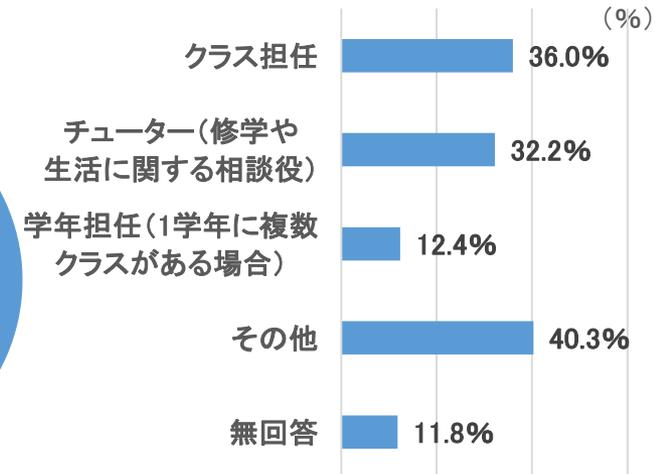
職位



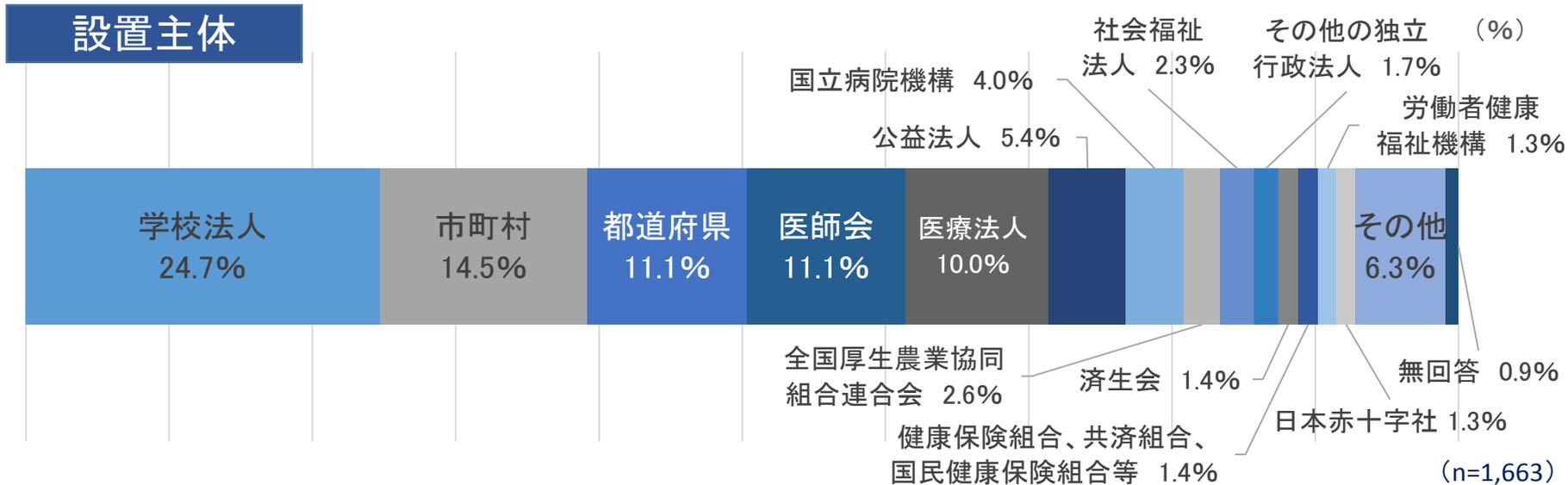
雇用形態



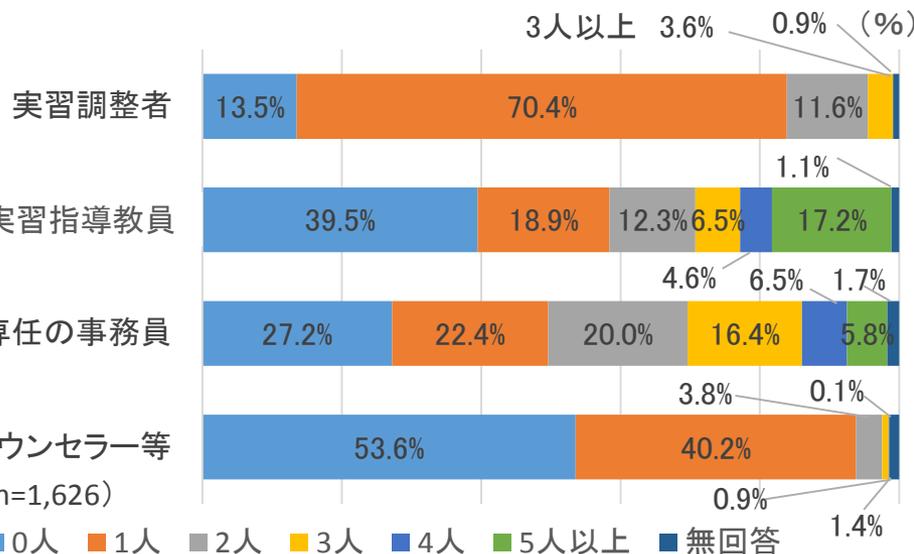
担当科目以外に担っている役割(複数回答)



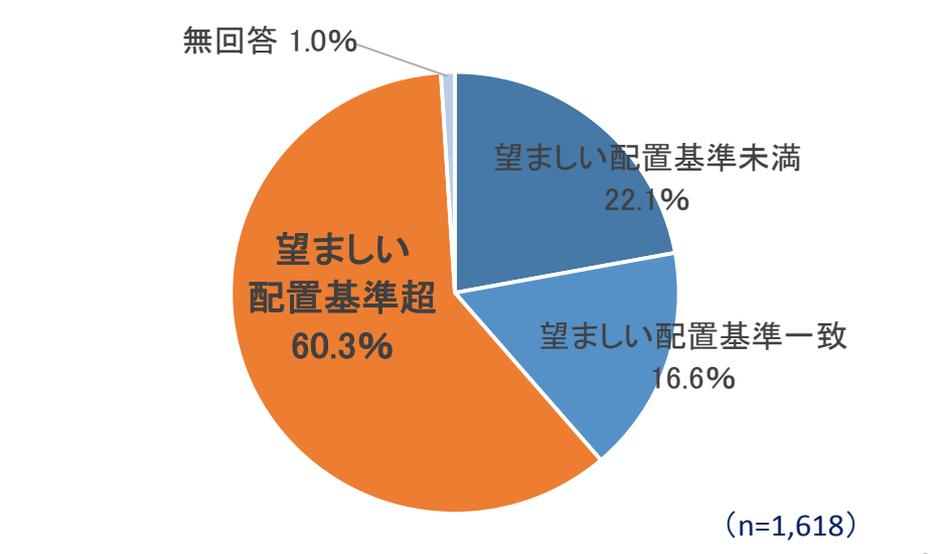
養成所や担当している課程の背景 (n=1,663)



担当課程に配置されている教職員の人数 (配置ありと回答した人のみ)



担当課程に配置されている専任教員の人数 (望ましいとされる専任教員数との比較)



担当科目の授業時間数とカリキュラム外での補習や技術演習等

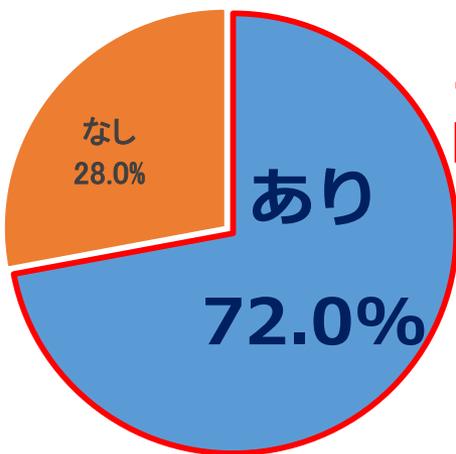
平均81.9時間/月の授業を担当

加えて7割以上がカリキュラム外で補習や演習を実施

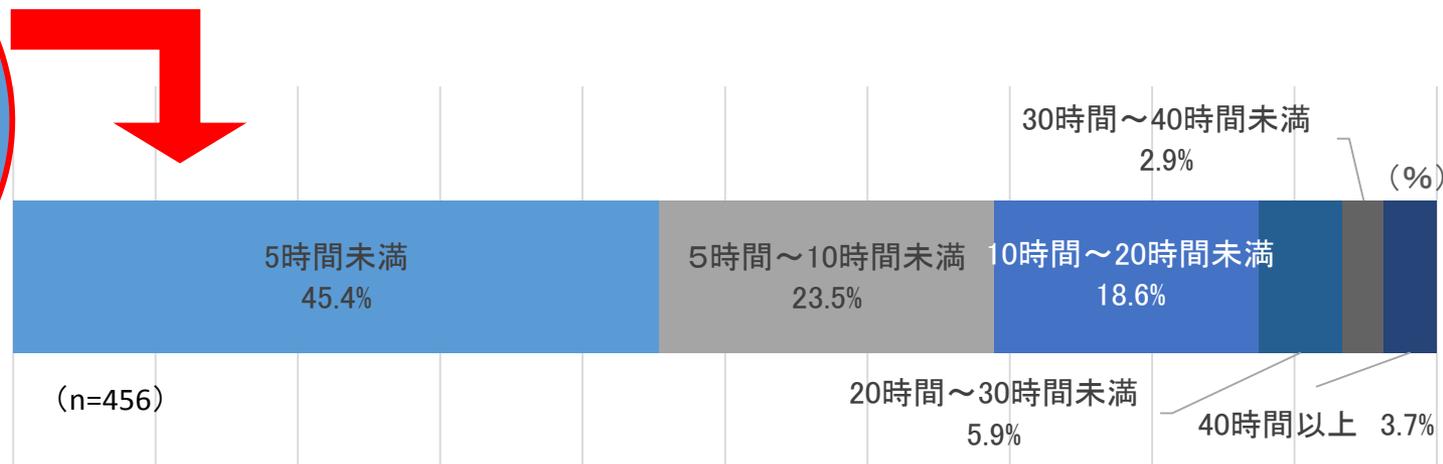
担当授業時間数(講義+演習+実習、2018年6月1日~6月30日)



担当科目のカリキュラム外での補習や技術演習等の実施(講義+演習+実習、2018年6月1日~6月30日)



平均9.2時間/月のカリキュラム外の補習や演習を実施



時間外労働(2018年6月1日～6月30日)

平均**23.1時間/月**の時間外労働を実施

内容は「自分が担当している科目の講義・演習の準備」が7割

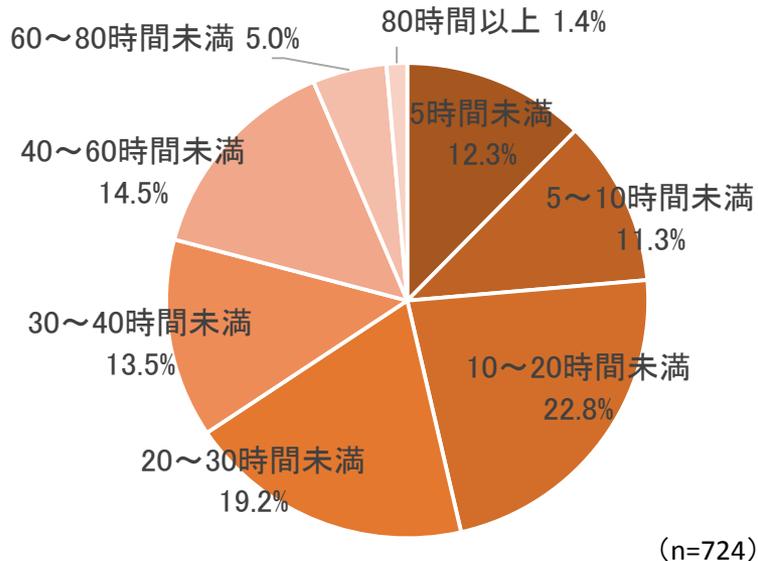
時間外労働の有無

(時間外勤務手当の支払い対象者のみ)



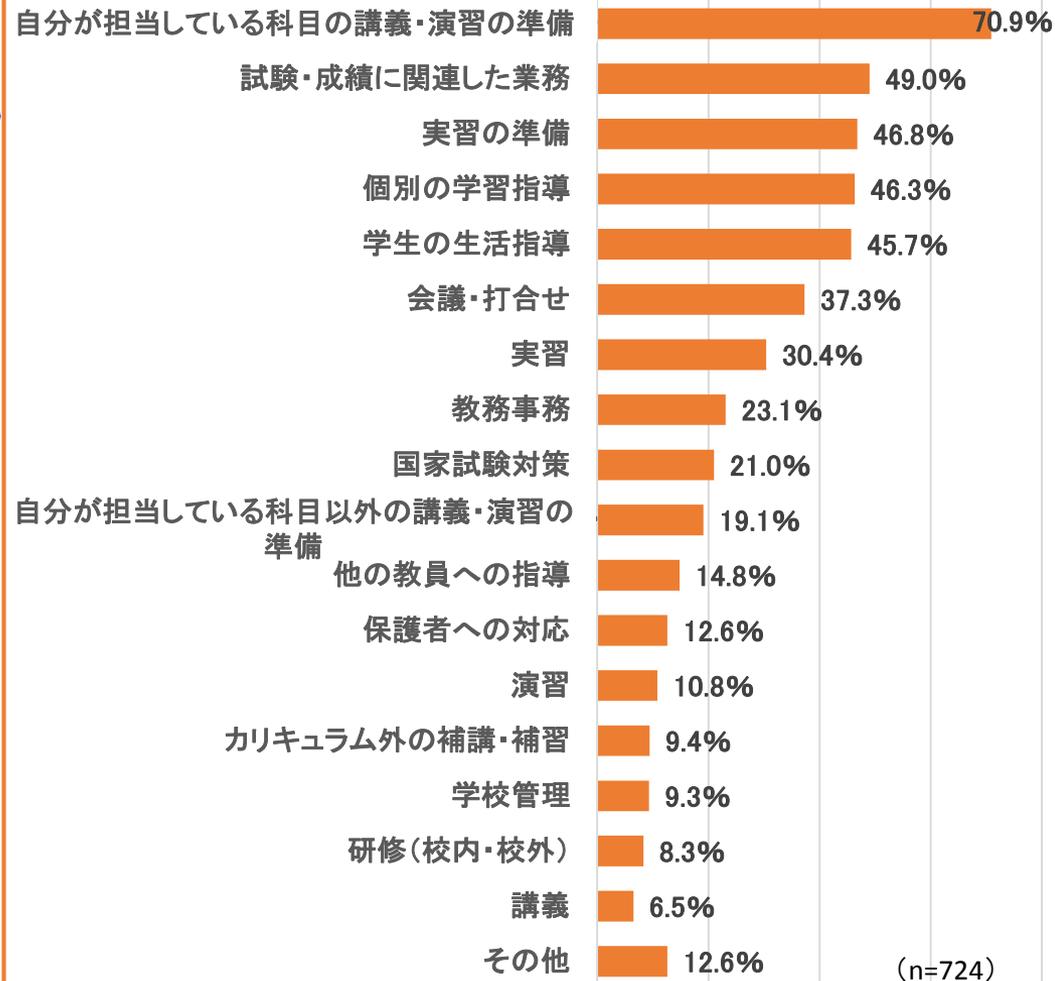
実際に行った時間外労働(平均23.1時間)

(時間外労働をしており、時間数の回答があった人のみ)



時間外労働で行った業務の内容

(時間外労働をしており、時間数の回答があった人のみ、複数回答) (%)



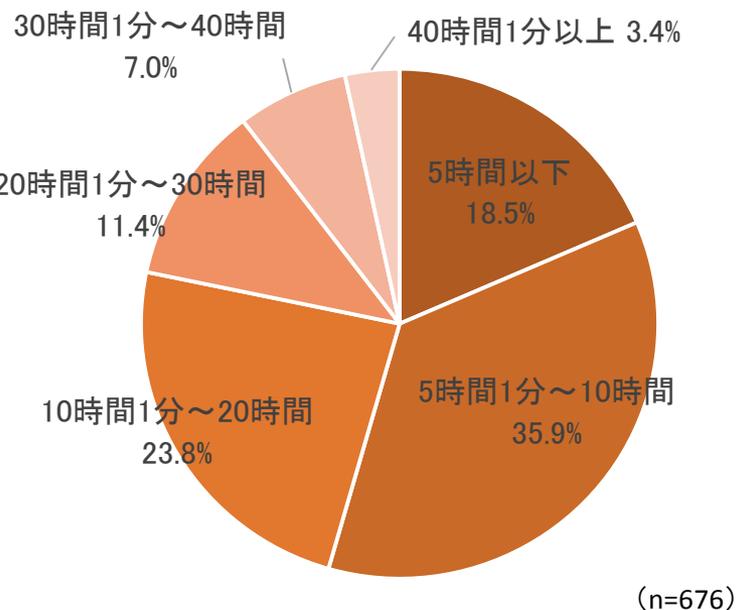
持ち帰り業務 (2018年6月1日～6月30日)

時間外労働以外に平均**15.7時間/月の持ち帰り業務**を実施
 内容は「**自分が担当している科目の講義・演習の準備**」が8割

自宅に持ち帰って行った業務の有無

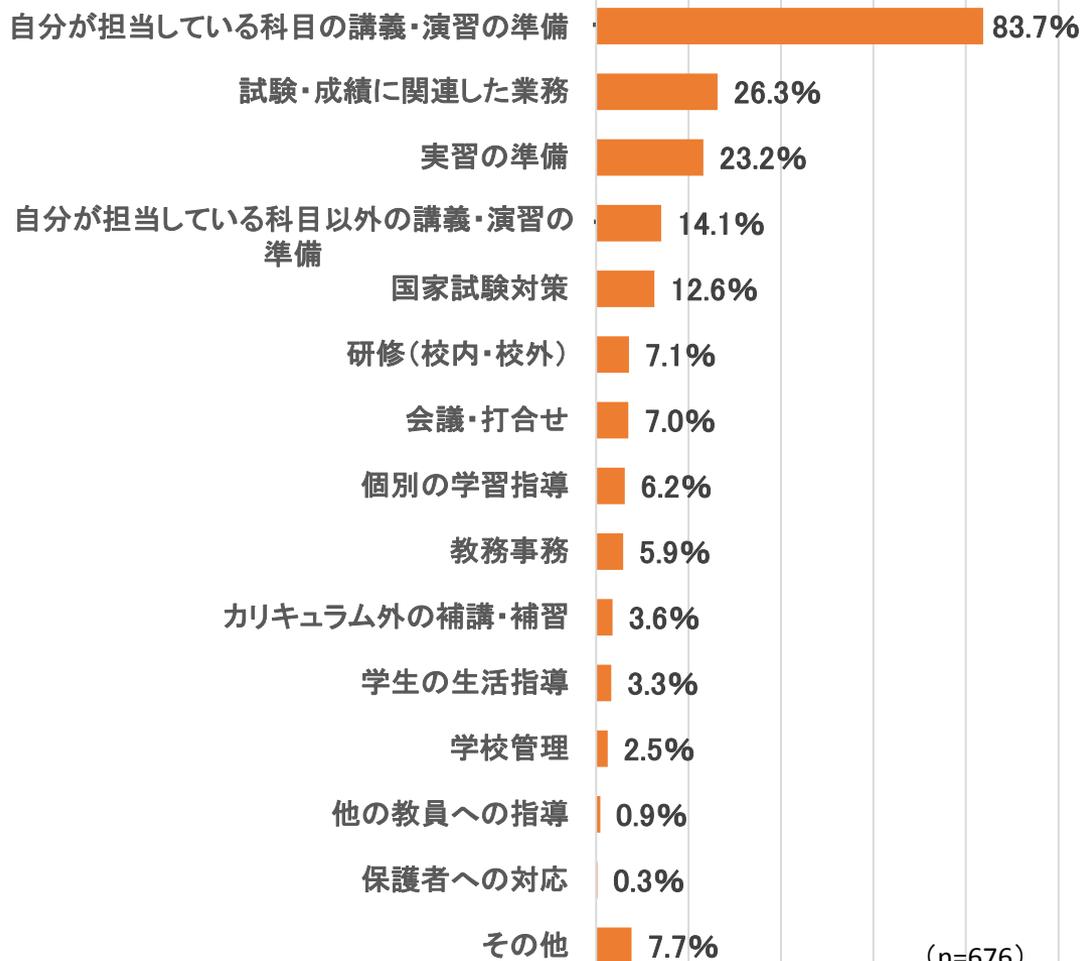


持ち帰り業務の時間数 (平均15.7時間) (持ち帰った業務があり、時間数の回答があった人のみ)



業務の内容

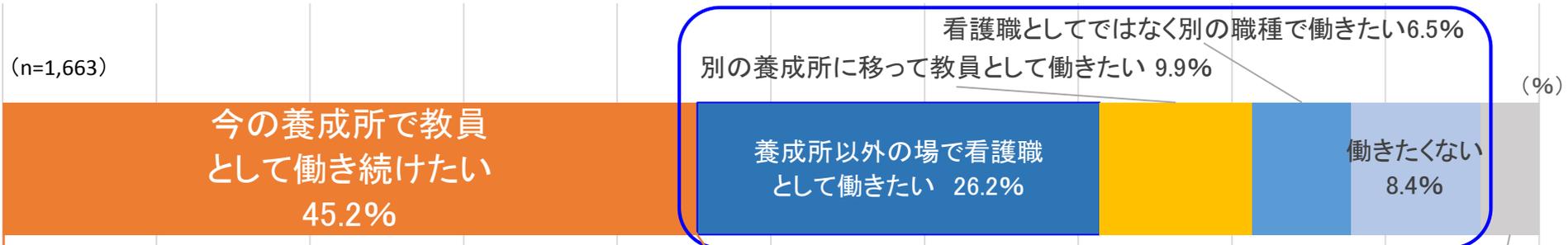
(持ち帰った業務があり、時間数の回答があった人のみ (複数回答) (%))



看護教員としての就業継続意向①

現所属での就業継続意向は**45.2%**、病院や訪問看護(6割)より**低い**

これからも看護教員として働き続けたいと思いますか



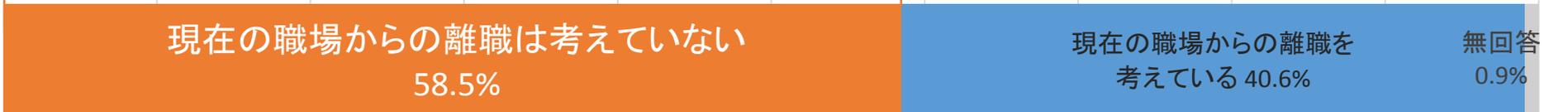
理由は次のスライドへ

(参考)訪問看護職や病院の看護職では約6割が現所属での就業継続の意向

◆訪問看護職 (日本看護協会・2014年訪問看護実態調査)
(n=2,262)



◆病院の看護職
(日本看護協会・2010年病院看護職の夜勤・交代制勤務等実態調査)
(n=2,260)

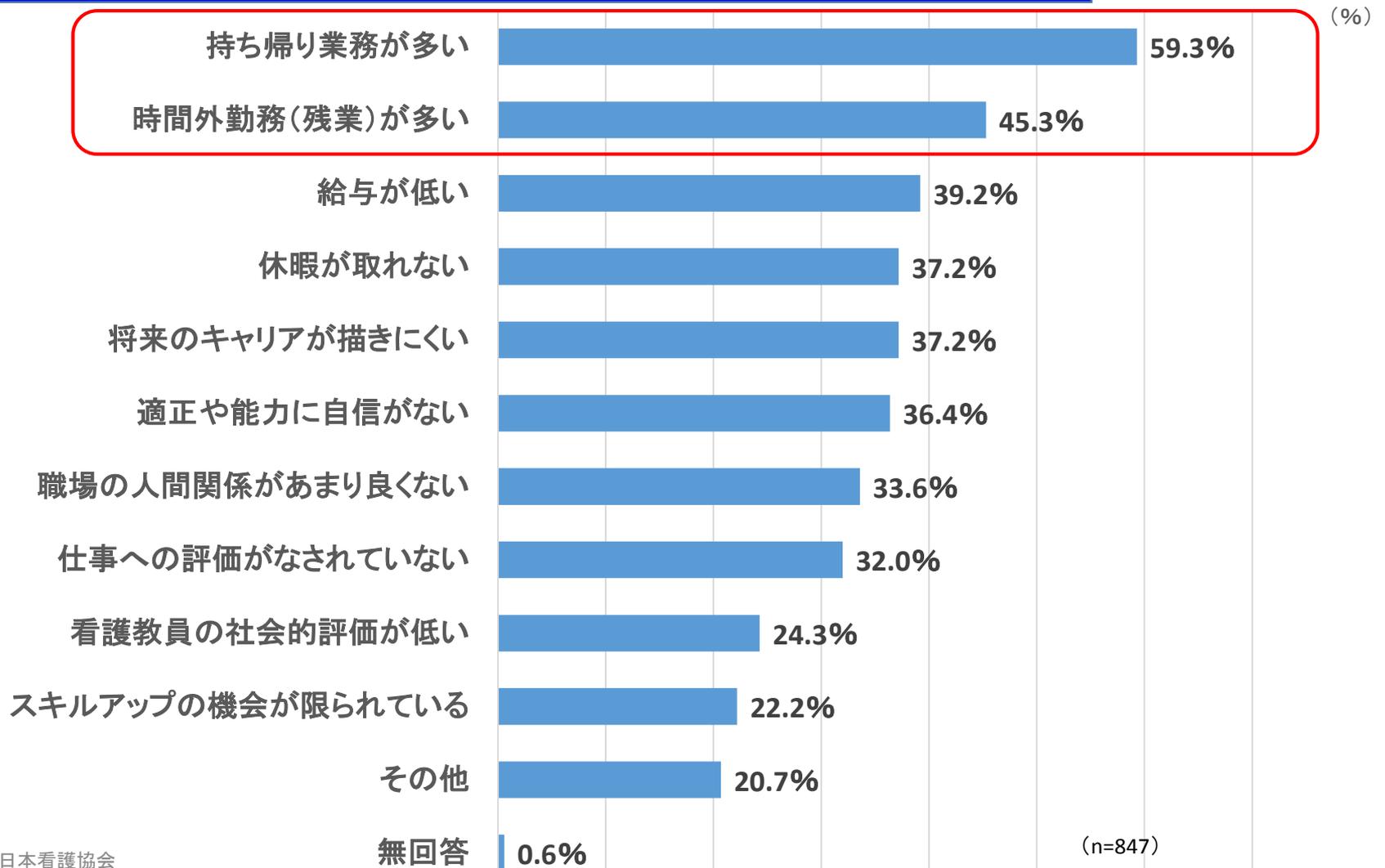


看護教員としての就業継続意向②

現所属で就業を継続したいと思わない理由は

「持ち帰り業務が多い」 (59.3%) **「時間外勤務が多い」** (45.3%)

「今の養成所で教員として働き続けたい」以外の回答の理由(複数回答)

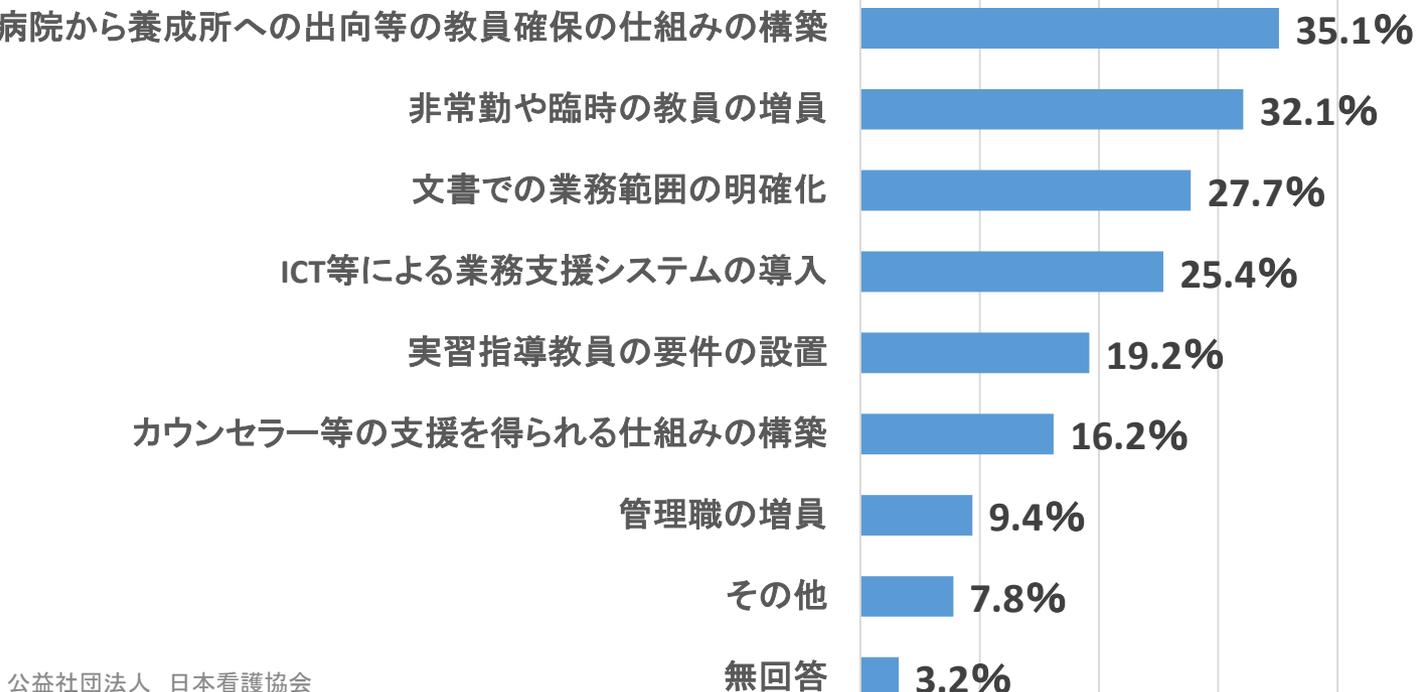
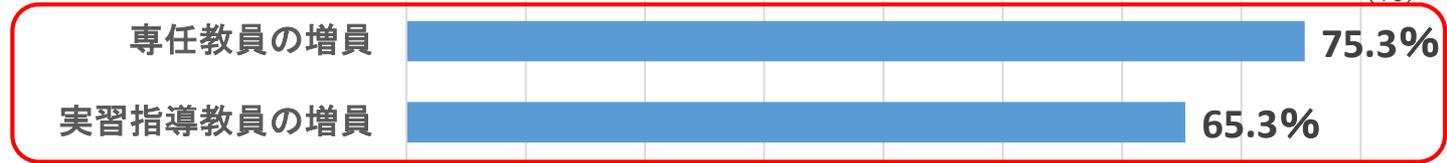


(n=847)

業務の負担感の軽減のために必要だと思う取組み (複数回答)

約7割が専任教員や実習指導教員の増員と、半数程度が給与の増額や事務職員の増員・連携強化と回答

(%)



(n=1,663)